

アスベスト入(服地) 米国で使用を禁止

FDA発表「健康に有害」

いた。米国ではたばことアスベスト吸入が原因となつた場合、肺がんの発生率は非常に高くなるなどの報告がある。

わが国最大のアスベストメーカーである日本アスベスト社が話では、日本では一般原料用にはアスベスト繊維はほとんど使われて

いないという。しかし、スレートなど建築用材や電機用絶縁体、自動車部品の断熱材、断熱材としての用途は広く、場所によっては大気

中の浮遊粉じん中に含まれることが十分考えられ、東京衛生研究所の山口助公第一主任研究員が四十三年暮れ、東京都文京区本郷

三丁目の切通から千五百CCの三玉のアスベスト繊維を採り、労働汚染が極めて高純度の恐れがあると警告し注目された。

「ワシントン二十七日共同」米食品医薬品局(FDA)は二十七日、アスベスト繊維が健康に有害であるとの理由で、一般用衣服にアスベスト繊維入りのは服を使用することを禁止すると発表した。この措置は九月二十七日に発効するが、防火服など、特殊衣服、ハーベニュー用エプロンなどは、アスベスト繊維を化学剤で固定することを条件に使用禁止を適用除外した。

FDAはかねて専門委員会を通じて、アスベスト繊維の安全性を検査していたが、専門委員会がこのほど報告中に浮遊するアスベスト繊維を吸込んだ場合、健康に有害と結論、その使用禁止を勧告していた。

呼吸器がんに関連か
▲解説 アスベスト(石棉)繊維は、肺にたまって結核を起す助長剤として知られているが、肺がんなど呼吸器系のがんに関連がらむと考え、米国ではこれを止めるか、規制の方向を検討して

朝日新聞東京本社調査部